

衛生学・公衆衛生学

担当講座（分野）：口腔医学講座（予防歯科学分野）

第2学年 後期

後期

講義/演習

24.0 時間

実習

6.0 時間

学修方針（講義概要等）

衛生学・公衆衛生学はカリキュラム上、最初に学ぶ社会歯科学系科目である。社会歯科学系科目は地域や集団に対して歯科医学の知識や技能を効率的に提供するための学問である。歯科医学という歯科医師特有の技能を修得するに先立ち、保健・医療全般に関して集団からのデータの集積ならびに分析法を学ぶことで、地域社会の課題を抽出し、自らが構築した改善策を適用するまでの工程をシミュレーションするまでの能力を身につける。

教育成果（アウトカム）

講義：疾病の原因、リスクならびに健康要因とその管理方法への包括的理解を得ることで、歯科保健医療分野における地域住民のリスク管理ならびに地域の環境改善に貢献できるようになる。

実習：衛生・公衆衛生学的指標の測定を実施することにより、環境と健康の関連を理解できるようになる。

（ディプロマ・ポリシー：1、4、5、7、8、9）

事前事後学修の具体的内容及び時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義/演習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月8日 (火) 1限	1 岸光男教授	公衆衛生総論1 公衆衛生学の概念と役割を学ぶことで各論的概念を理解できるようになる。	1. 公衆衛生学を適用する現代社会の背景を理解できる。 2. 健康と疾病の概念を概説できる。 3. 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 4. 国際生活機能分類を概説できる。 5. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 [B-1①②、B-3-1-1)①～④]
11月15日 (火) 1限	岸 光男教授	公衆衛生学総論2 疫学1 疫学の基本概念を学ぶことで、集団における疾患のとらえ方を理解することができる。	1. 健康日本21（第二次）の目標を列挙できる。 2. 疫学の概念を概説できる。 3. 疫学指標を列挙できる。 4. 疫学の研究方法と適用を説明できる。 [B-4-1)①、B-4-2)④]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月22日 (火) 1限	岸 光男教授	疫学 2 リスク指標と標本測定値の誤差要因等を学ぶことで、疫学的根拠への理解を深めることができる。	1. リスク指標を算出できる。 2. 標本抽出法を列挙できる 3. 誤差と交絡の違いを説明できる。 4. 因果関係の判定基準を列挙できる。 [B-4-1)①、B-4-2)①④]
11月29日 (火) 1限	佐藤俊郎講師	口腔疾患の疫学指標 口腔疾患に固有の疫学指標を学ぶことで歯科疾患とリスクの分布頻度を把握できるようになる。	1. 歯科疫学調査の特性を概説できる。 2. 齲蝕の疫学指標を列挙できる。 3. 歯周疾患の疫学指標を列挙できる。 4. 口腔清掃度の疫学指標を列挙できる。 5. その他の歯科疾患(歯のフッ素症、不正咬合、など)の疫学指標を列挙できる。 [B-4-1)③]
12月6日 (火) 1限	岸 光男教授	EBM、統計解析法 1 EBMの概念と基礎的な医療統計を学ぶことで歯科診におけるEBMが実践できるようになる。	1. EBMの5つのステップを列挙できる。 2. 診療ガイドライン説明できる。 3. 変数の種類を列挙できる。 4. 変数の種類に応じたグラフを選択できる。 [B-4-1)①④、B-4-2)①④]
12月6日 (火) 2限	岸 光男教授	統計解析法 2 基礎的な医療統計を学ぶことで歯科診におけるEBMが実践できるようになる。	1. 正規分布を説明できる。 2. 統計学的分析法(t検定、F検定、 χ^2 検定、相関係数、順位相関係数)を説明できる。 3. 統計学的分析法(t検定、F検定、 χ^2 検定、相関係数、順位相関係数)を説明できる。 [A-8-1)-②、B-4-1)①④、B-4-2)④]
12月13日 (火) 1限	岸 光男教授	スクリーニング スクリーニングについて学ぶことで集団の健康管理法について理解できる。	1. スクリーニングの意義を説明できる。 2. スクリーニングの有効性の指標を算出できる。 [B-4-1)②]
12月13日 (火) 2限	岸 光男教授	人口統計 人口指標を学ぶことで、超高齢社会の問題点を把握できるようになる。	1. 我が国の人口の問題を概説できる。 2. 人口静態の指標を列挙できる。 3. 人口動態の指標を列挙できる。 4. 人口指標の数値の推移を概説できる。 [B-4-2)①③④]
12月20日 (火) 1限	大石泰子助教	環境と健康 1(地球環境保全、公害、温熱環境、大気物質) 地球環境問題について学ぶことで環境が健康にもたらす影響を理解できる。	1. 主な地球環境問題を列挙できる。 2. 主な世界環境保全のための条約を列挙できる。 3. 地球温暖化の原因と影響を説明できる。 4. 日本の代表的公害事例を列挙できる。 5. 環境基本法を概説できる。 6. 空気の正常・異常成分を列挙できる。 7. 大気汚染物質による健康影響を説明できる。 [B-2-4)①②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月20日 (火) 2限	大石泰子助教	環境と健康2(水質・騒音・廃棄物) 衛生的環境指標を学ぶことで環境が健康にもたらす影響への理解が深まる。	1. 生活用水の取水から排水までの経路を概説できる。 2. 浄水法を説明できる。 3. 上水道の水質基準を列挙できる。 4. 汚水処理法を説明できる。 5. 水質汚濁による健康影響を説明できる。 6. 騒音・振動の健康影響を説明できる。 7. 廃棄物処理を概説できる。 [B-2-4)①②]
12月21日 (水) 1限	岸 光男教授	疫学・保健医療統計演習 具体的データを用いて保健医療統計の演習をすることで統計学的応用力が身につく。	1. 主な疫学指標(相対危険、寄与危険、オッズ比)を算出できる 2. 主なスクリーニングの指標(敏感度、特異度、陽性適中度、陰性適中度、尤度比)を算出できる 3. 主な人口統計指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を算出できる。 4. 主な統計指標(平均値、中央値、最頻値、四分位、分散)を算出できる。 5. データに適した統計解析法を選択できる。 [B-4-2)①②③④]
1月10日(火) 1限	岸 光男教授	感染症の予防 感染症について学ぶことで歯科医療における感染対策の意義を理解できる。	1. 感染症の成立要素を列挙できる。 2. 感染症成立要素に応じた対策を概説できる。 3. 感染症法に基づく感染症列挙できる。 [B-3-1)①②④]
1月10日(火) 2限	岸 光男教授	非感染症の予防 非感染症について学ぶことで超高齢社会で重点的に対応すべき疾患と口腔との関わりが理解できる。	1. 非感染症の要因と成り立ちについて説明できる。 2. 主な非感染症を列挙できる。 3. 非感染症の原因と予防について説明できる。 [A-6-1)⑥、A-6-3)①-③、B-3-1)①②④]
1月13日(金) 2限	岸 光男教授	国が行う保健統計調査 国の行う保健医療統計調査を学ぶことで、現代日本の健康問題を理解できるようになる。	1. 基幹統計を列挙できる。 2. 一般統計を列挙できる。 3. 重要な保健医療統計を概説できる。 [B-4-2)②③④]
1月17日(火) 1限	相澤文恵教授 (心理学・行動科学分野)	健康と食生活Ⅰ 栄養と健康について学ぶことで口腔保健における栄養指導の重要性が理解できる。	1. 健康と栄養との関係を概説できる。 2. 国民栄養の現状について説明できる。 3. 日本人の食事摂取基準について説明できる。 [B-1②③]
1月17日(火) 2限	相澤文恵教授 (心理学・行動科学分野)	健康と食生活Ⅱ 栄養と健康について学ぶことで口腔保健における栄養指導の重要性が理解できる。	1. 食中毒の原因を列挙できる。 2. 保健機能食品を説明できる。 3. 食品の安全性について説明できる。 4. 食育基本法を概説できる。 [B-1②③、B-3-2)⑦⑧]

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月10日(火) 1月17日(火) 3、4限	岸光男教授 佐藤俊郎講師 大石泰子助教	環境衛生実習 環境測定を実施することで環境衛生についての理解が深まる。	1. 水質検査を行うことができる。 2. 感覚温度を求めることができる。 3. 空気の成分を測定することができる。 4. 測定値から生活環境を評価することができる。 [B-2-4)①②]

教科書・参考書・推薦図書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	新編 衛生学・公衆衛生学 第1版	安井利一、嶋崎義浩、岸 光 男、他 編	医歯薬出版	2021年
教	口腔保健・予防歯科学 第1版第4刷	安井利一、宮崎秀夫、他 編	医歯薬出版	2020年
参	スタンダード衛生・公衆 衛生 17版	安井利一、神原正樹、荒川浩久 編	学建書院	2021年
参	国民衛生の動向 2021/2022(「厚生 の指標」臨時増刊号)	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協 会	2021年

成績評価方法

定期試験 90%
実習レポート、平常点（受講態度等）10% で評価する。

特記事項・その他

講義資料は講義前に WebClass に掲載するので、事前学習に使用すること。
提出されたレポートは採点后、コメント付して返却する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
複写機 MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
ノートパソコン LetsnoteB3ノート CF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式 ThinkPadT43P266 8-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
簡易設置型100スクリーン	1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
インテリジェントプロジェクター ip40B	1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook	1	視聴覚用機器	講義資料作製用
ノートパソコン・Let's note 一式	1	視聴覚用機器	講義用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン dynabook 一式	T552/47	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3	1	視聴覚用機器	症例提示用
カラーレーザープリンタ・ 一式	LBP9200C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン一式	PC- MK33MLZE14SM 他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
A3 対応カラープリンタ・ 一式	LBP9100C	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の資料印刷用
デスクトップパソコン	Endeavor MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン	Endeavor AT994E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン一式	MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
ノートパソコン Dell latitude-9410	NBLA096-401N3	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成 講義・プレゼンテーション用
バイオ冷蔵庫	ALS-657HC	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習試料及び試薬の 保存